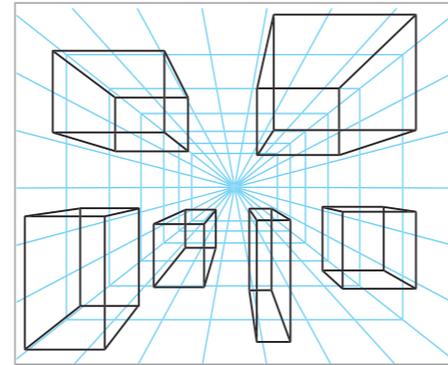
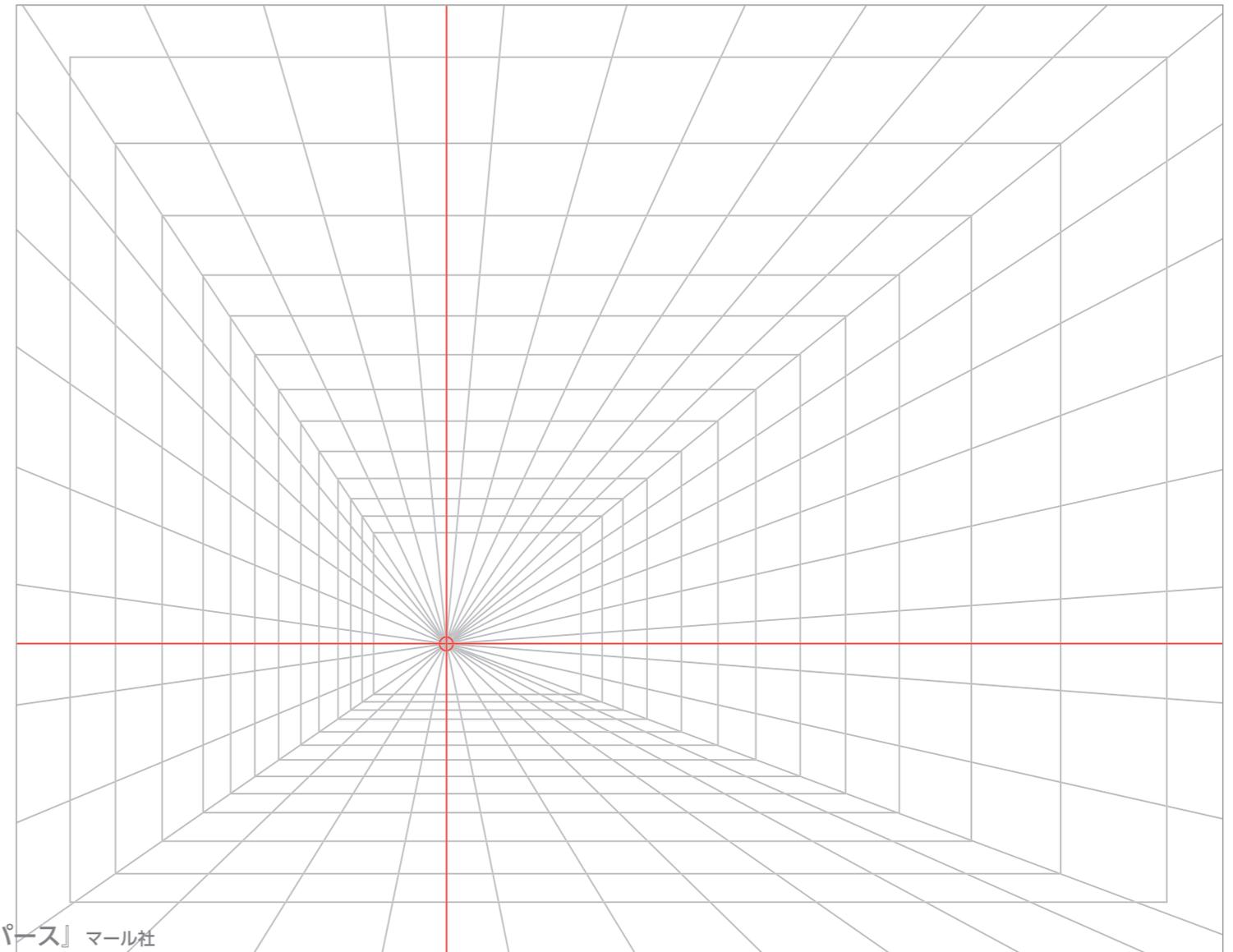
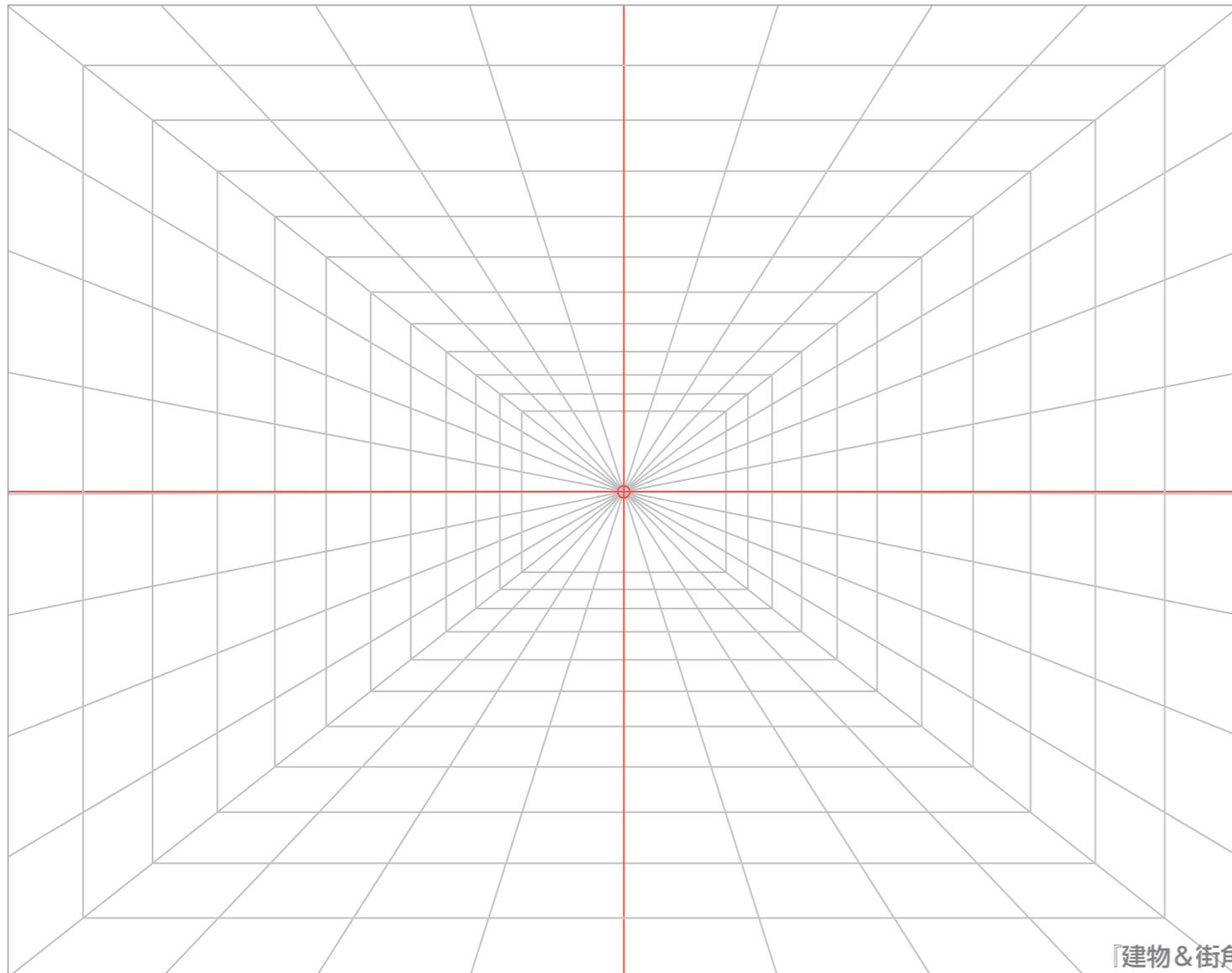
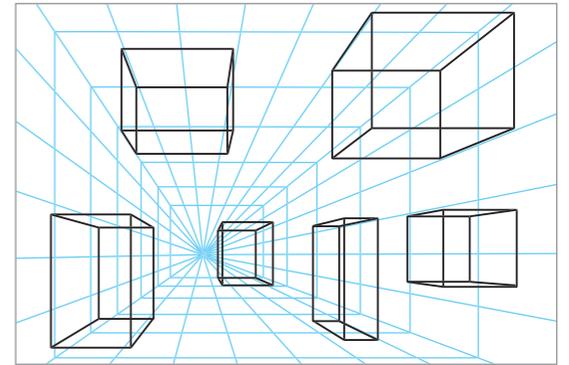


一点透視図法

スケッチ作品にはたいてい消失点が1つ以上あります。私はスケッチを始める前に、まず最初に、消失点の位置を教えてください。天井や床の境界線を探します。屋外にいる場合には、消失点は、道路や軌道が向かうずっと遠くの水平線上にあります。屋内にいる場合には、すべての壁が鏡になっていると想像します。消失点は鏡に映った顔の「目の高さ」にあります。実際に壁が鏡張りの部屋に出くわすことはまれですが、消失点は、いずれにしても、描きたい方向の壁を真正面に見たときの「目の高さ」にあります。



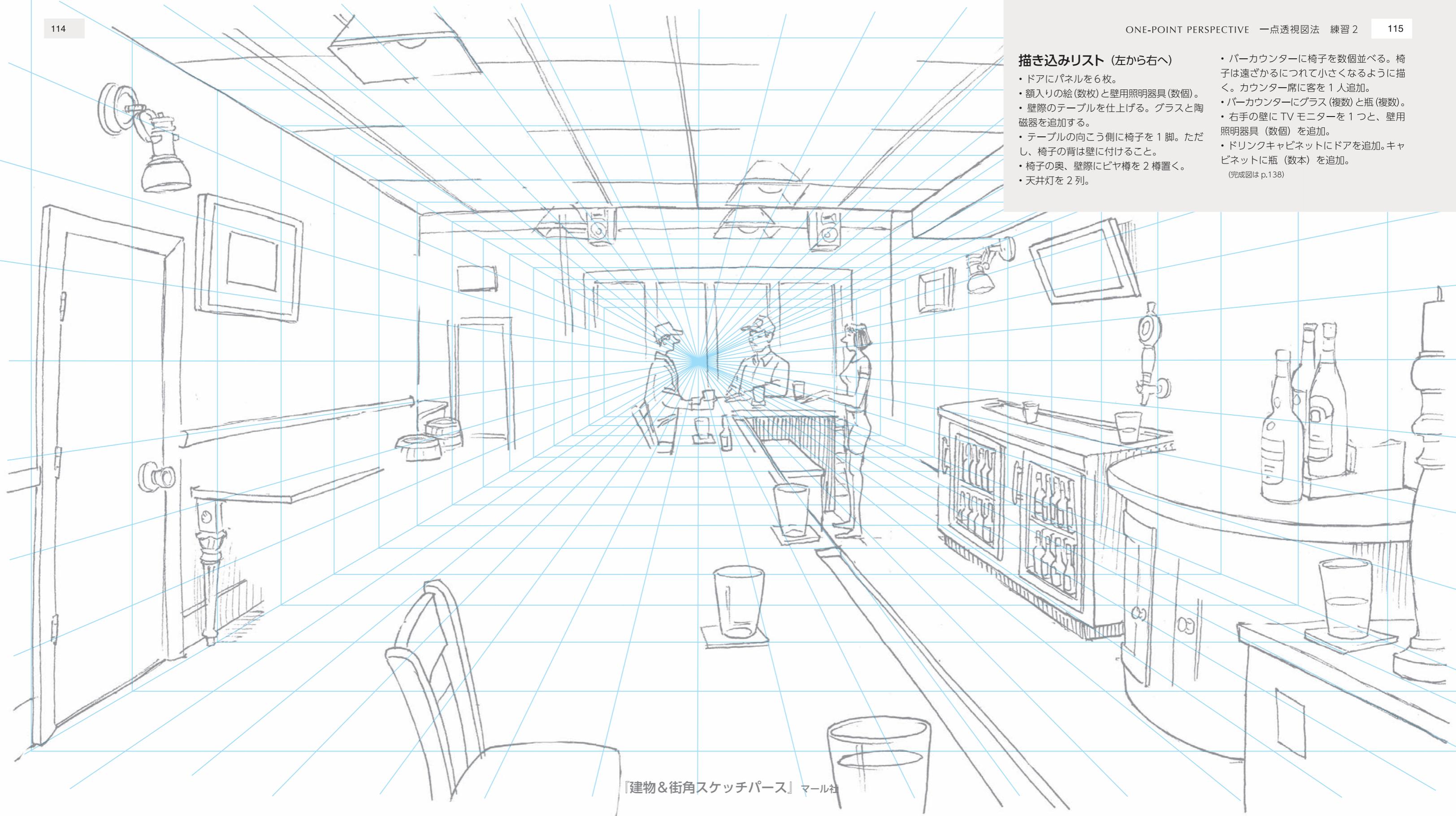
消失点を構図の中心に置くのはあまり感心しません。椅子に座って描くと、消失点の位置は低くなり、立って描くと、消失点の位置は高くなります。パースグリッドをコピーしたら、箱の位置と形を見ながら、自分で描いていきます。室内の家具、窓やドアなどの建具も試しに描いてみましょう。



描き込みリスト (左から右へ)

- ドアにパネルを6枚。
- 額入りの絵(数枚)と壁用照明器具(数個)。
- 壁際のテーブルを仕上げる。グラスと陶磁器を追加する。
- テーブルの向こう側に椅子を1脚。ただし、椅子の背は壁に付けること。
- 椅子の奥、壁際にビヤ樽を2樽置く。
- 天井灯を2列。

- バーカウンターに椅子を数個並べる。椅子は遠ざかるにつれて小さくなるように描く。カウンター席に客を1人追加。
- バーカウンターにグラス(複数)と瓶(複数)。
- 右手の壁にTVモニターを1つと、壁用照明器具(数個)を追加。
- ドリンクキャビネットにドアを追加。キャビネットに瓶(数本)を追加。
(完成図は p.138)

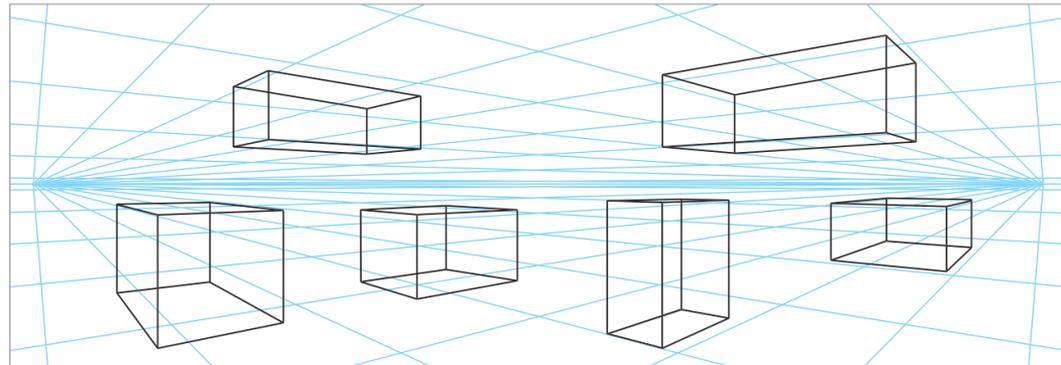
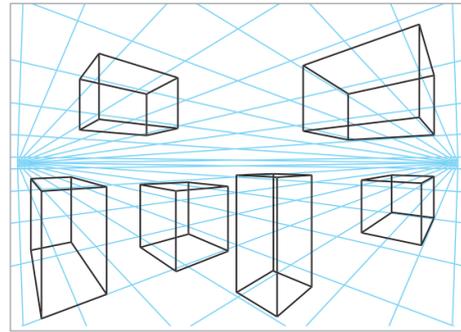


二点透視図法

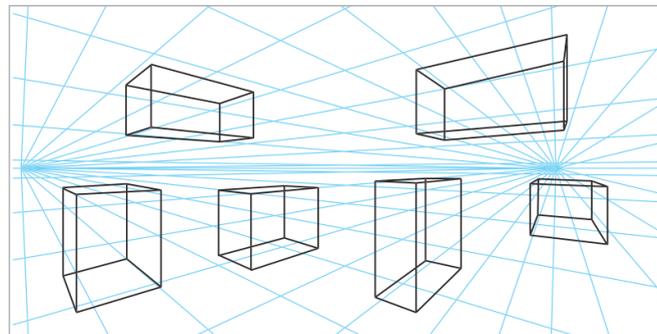
消失点は羅針盤の方位と似ています。交差点に立って北方向を見た場合、消失点は真東と真西にあります。私たちの周辺視野は広く、たいてい消失点2つを同時に見ることができます。

屋内で、部屋の隅を見ている場合、消失点は2つ発生します。部屋の隅の角度を90度とすると、消失点は、壁と直交する水平線にあります。

▶ 右図【A】の場合、2つの消失点の距離は近くなっています。これは正面と側面の作る角度が、90度以下の鋭角であるためです。これは望遠レンズのカメラ画像に似ています。



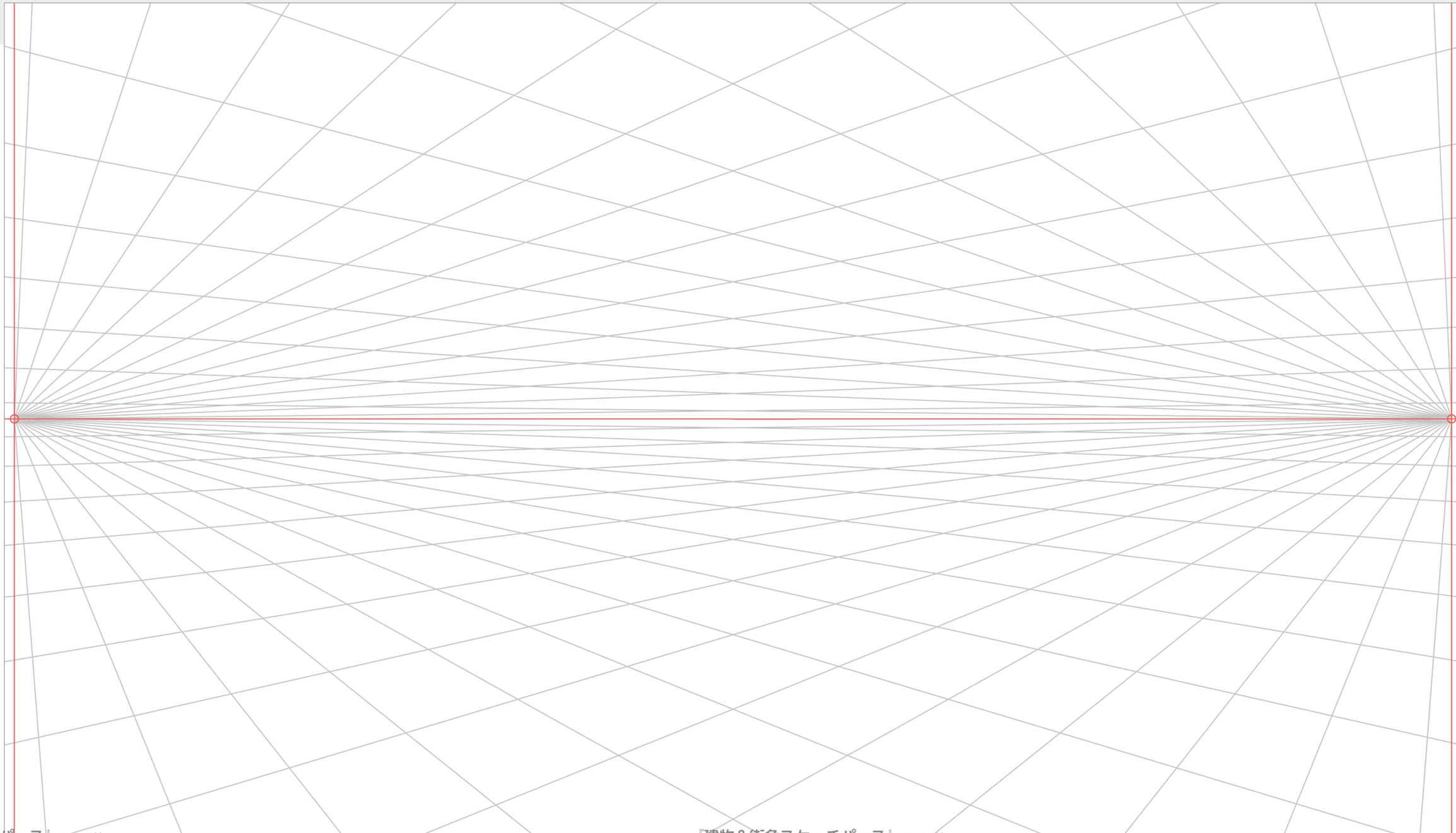
▲ 上図【B】の場合、2つの消失点の距離は、同ページ右上の図よりも、大きくなっています。これは正面と側面の作る角度が、90度以上の鈍角であるためです。これは広角レンズのカメラ画像に似ています。



▲ 上図【C】の消失点間の距離は、A、Bの極端な例のほぼ中間の距離です。また、画面の中心軸から消失点までの距離は等距離ではなく、A、Bの例とは異なる効果を出しています。極端な例を含むこの3例はどれも、使い次第で説得力が出てきます。

練習3 (p.124 ~ 125) :

練習3では、リストにある描きかけの部分を完成させます。ただし、今回は描きかけの部分を完成させるだけでなく、同じものを別の角度からも描いてもらいます。



描き込みリスト (左から右へ)

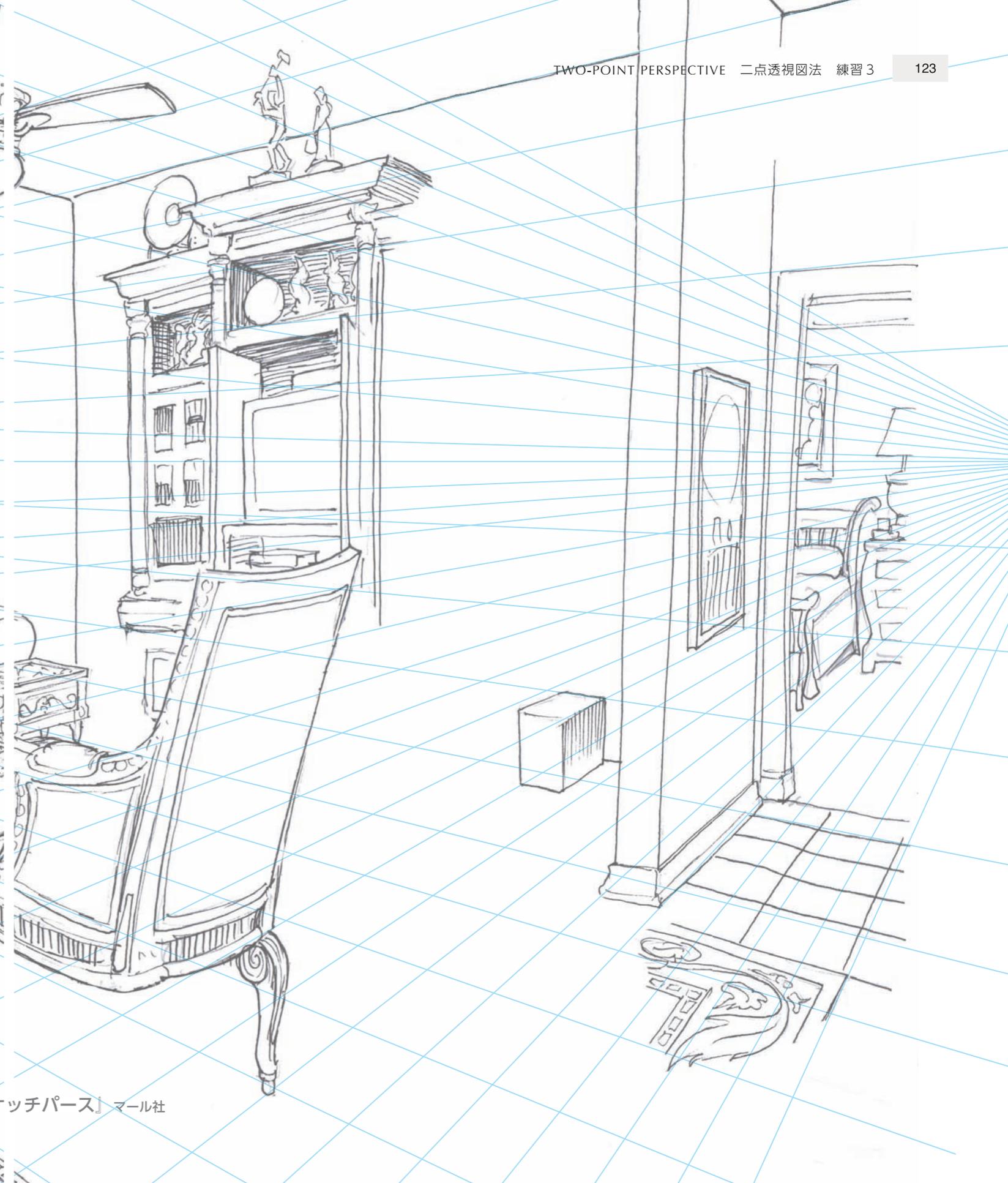
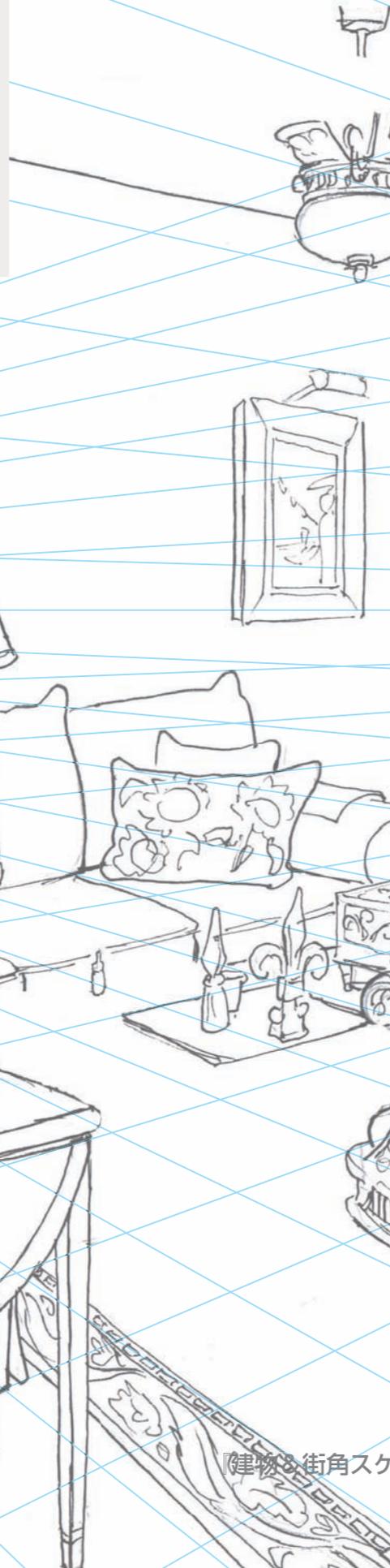
- 歩道や中央分離帯の縁を描き込む。
- ヤシの木の幹、葉の部分を描き込む。ヤシの木をさらに5本追加し、遠ざかるにつれて小さくなるように描く。
- 2つの小塔（屋根が円錐形とドーム形）の間を描き込む。建物に窓を付け、アーケードを完成させる。
- ヤシの木の間から見える高層マンションを描き上げる。
- 2本のヤシの木（小塔の左）の間にある屋根を追加。
- 時計の土台を加える。画面中央の円柱形の建物の細部を描き込む。
- 右方向の消失点に収束する駅舎と線路の境に柵を付ける。
- 円柱形の建物の右側、駅舎正面に窓を6つ付け加える。
- 2つの街灯柱に土台を付ける。
- 柵と平行しているせり出した駅舎の屋根に支柱を5本付ける。
- 線路を完成させる。
- 駅舎右後ろの建物を描き、何れも並んだ窓を加える。
- 機関車の後ろに客車3両を付け加える。
- もう1本の線路を完成させる。
(完成図は p.138)

描き込みリスト
(左から右へ)

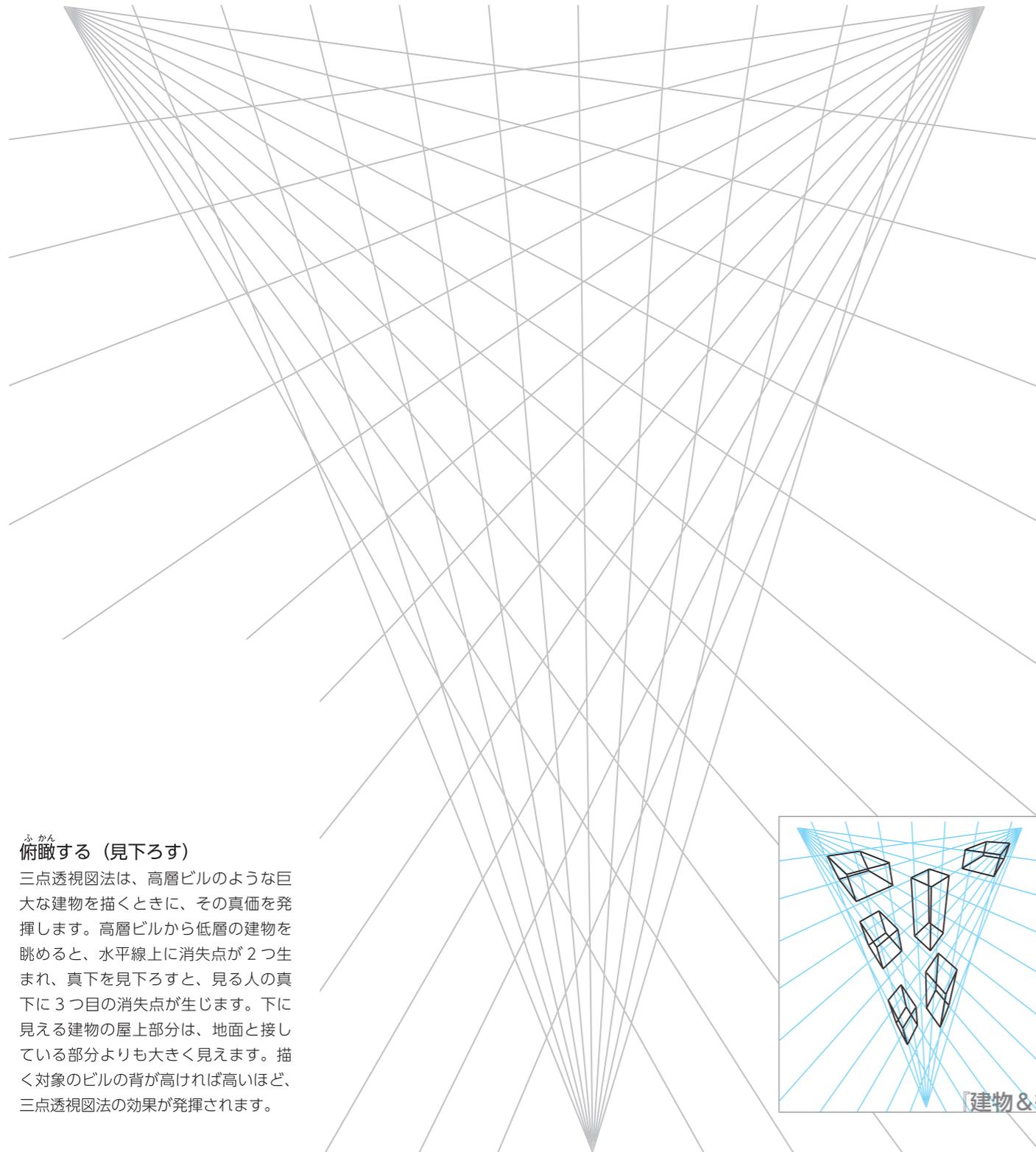
- ・窓際に積み上げた本の手前に2つ目のランプを描く。
- ・窓を付け、窓越しに緑の葉を描く。
- ・本を積み上げているサイドテーブルを仕上げる。

- ・壁に掛けた絵を4枚追加。
- ・ソファの土台を仕上げる。
- ・ソファと椅子の間にあるコーヒーテーブルを描く。
- ・天井のファンに羽を4枚付ける。
- ・椅子に脚を付ける。
- ・椅子の右隣に、同じ方を向いた椅子を1脚追加。

- ・右側の椅子と通路脇から出ている壁の間に敷かれた絨毯^{じゅうたん}を仕上げる。
- ・左右対称のキャビネットの右側を描く。
- ・床のタイル張りを仕上げる。
(完成図は p.138)

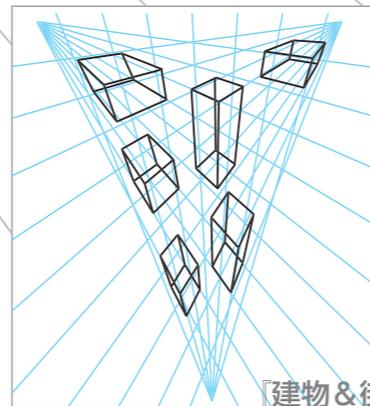


三点透視図法



俯瞰する (見下ろす)

三点透視図法は、高層ビルのような巨大な建物を描くときに、その真価を発揮します。高層ビルから低層の建物を眺めると、水平線上に消失点が2つ生まれ、真下を見下ろすと、見る人の真下に3つ目の消失点が生じます。下に見える建物の屋上部分は、地面と接している部分よりも大きく見えます。描く対象のビルの背が高ければ高いほど、三点透視図法の効果が発揮されます。



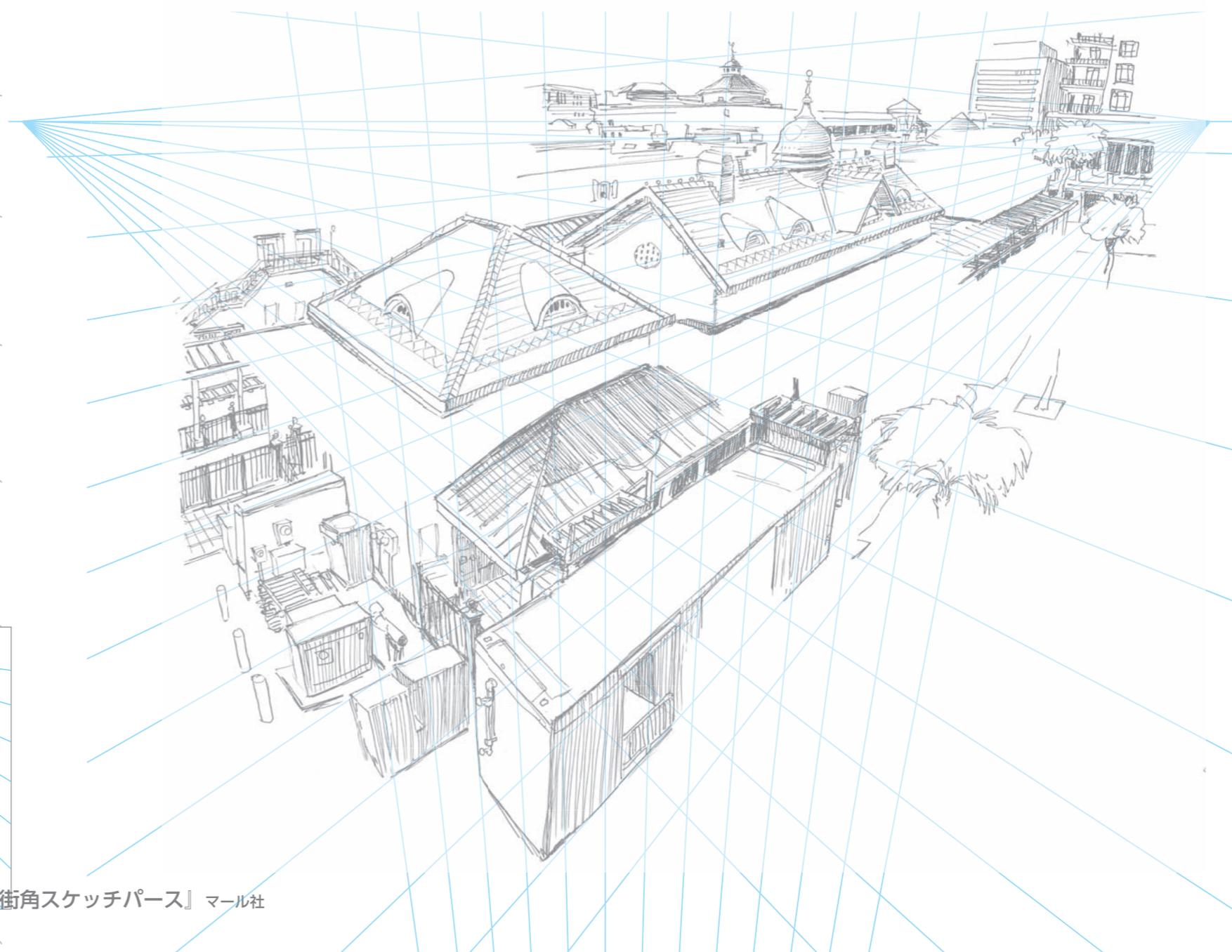
『建物&街角スケッチパース』 マール社

描き込みリスト (左から右へ)

- 背景の建物群に屋上や窓を描き加える。
- 左手前の建物の左側に雨よけを描く。
- 同じ建物の屋根の下の壁に窓を4つ付ける。

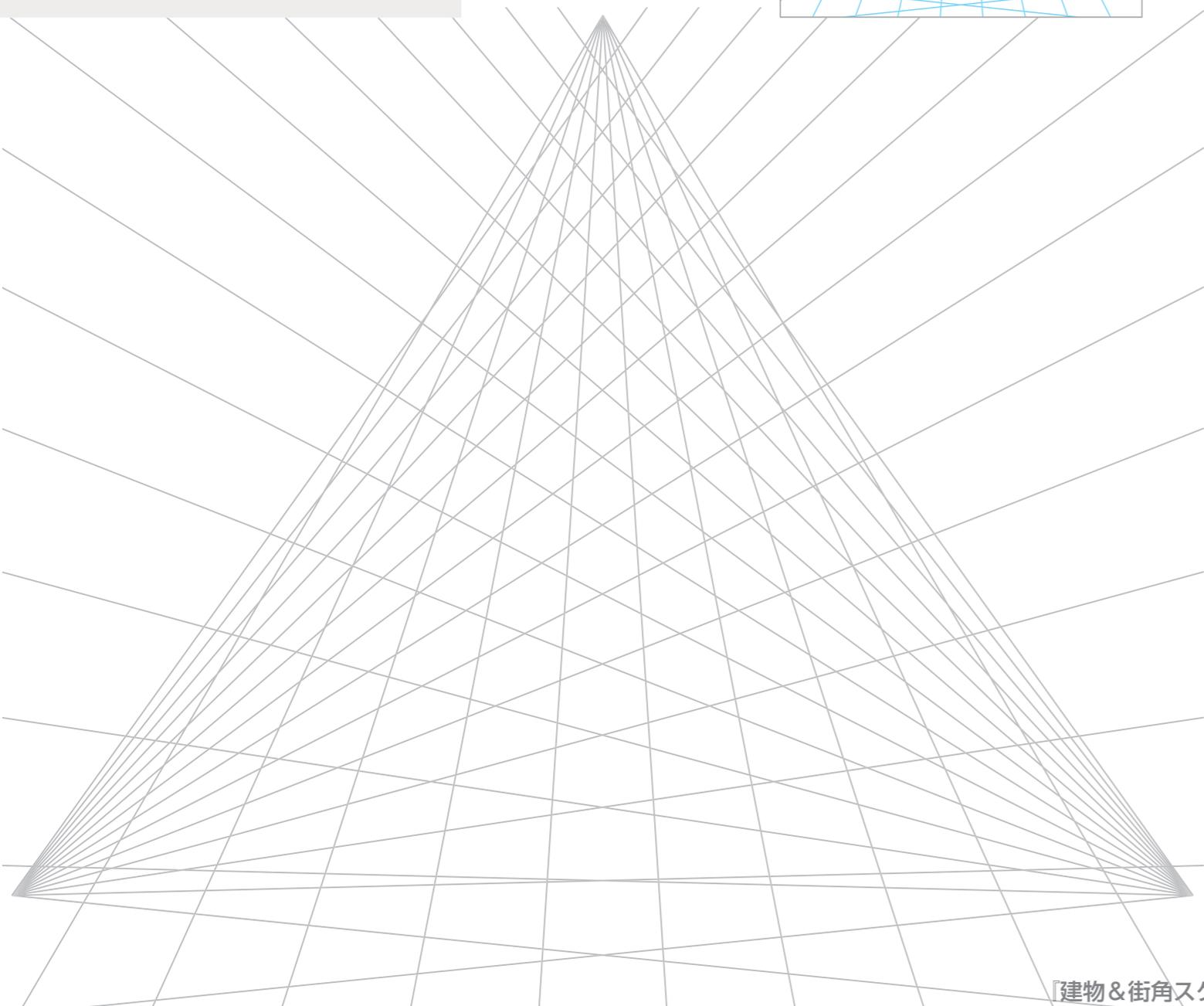
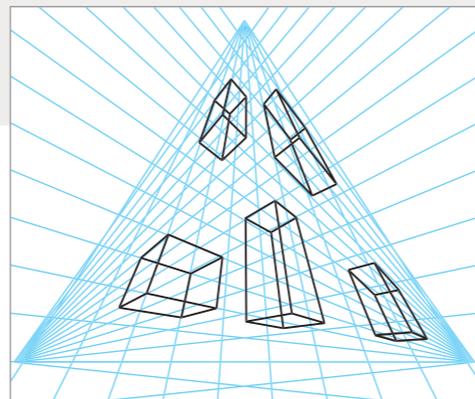
- 画面中央から右の消失点に向かって、シュロの木を4本描く。
- 手前のコンテナの正面（シュロの木側）にコココーラの広告を描く。
- 右隣のコンテナを描き、その後ろの建物に、左手前の建物と同じように、雨よけと窓を付ける。

- 手前のコンテナ2つの向こうにさらに2つコンテナを描く。
- 3つ目の建物に屋根を付けて完成。
(完成図は p.139)



あおり（見上げる）

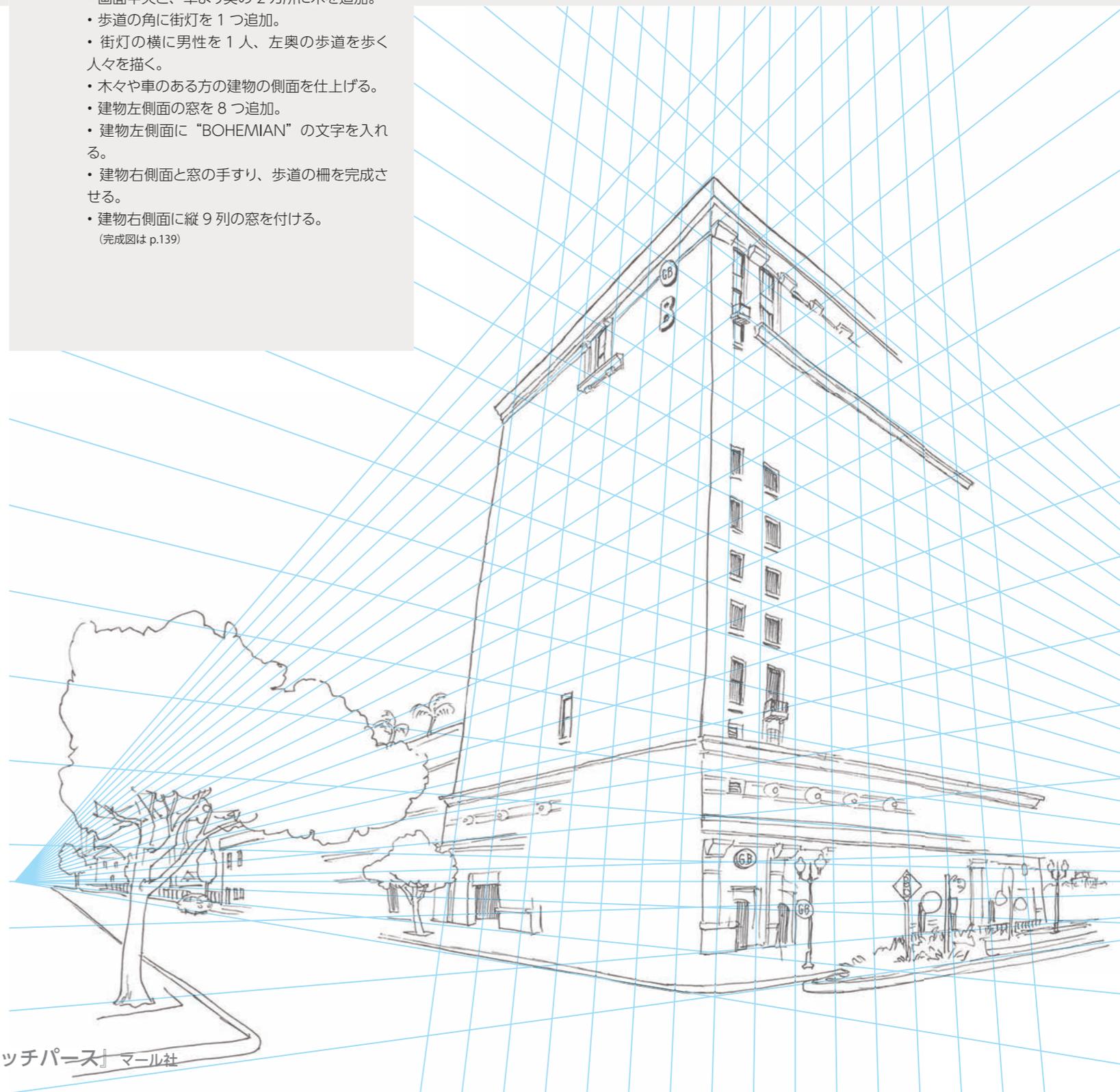
高層ビルを見上げると、最上階の窓は1階の窓よりも小さく見えます。これはビルの垂直線が、はるか上空にある3つ目の消失点に向かって収束しているためです。窓の平行線が水平線上の左右の消失点に収束し、垂直線が上空の3つ目の消失点に向かって収束しているため、ビルは巨大な威容を誇っています。



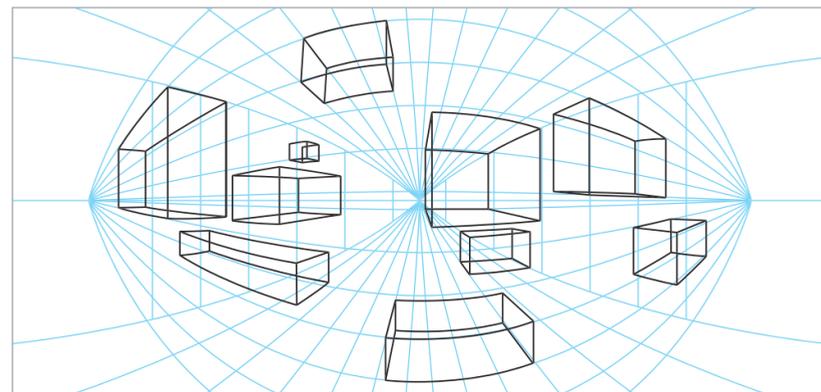
『建物&街角スケッチパース』マール社

描き込みリスト（左から右へ）

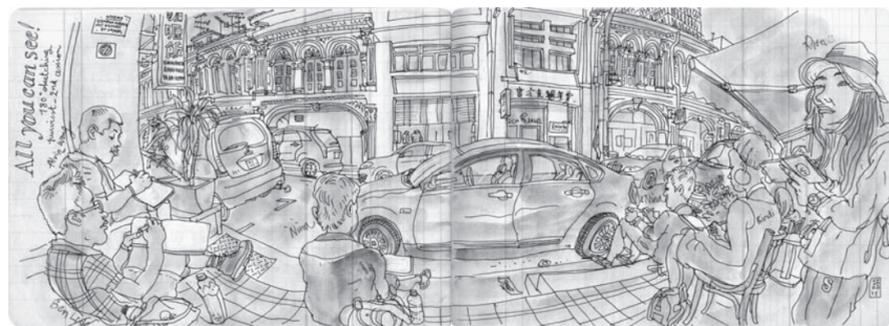
- 左側遠方の路上に停まっている車を描く。
- 画面中央と、車より奥の2カ所に木を追加。
- 歩道の角に街灯を1つ追加。
- 街灯の横に男性を1人、左奥の歩道を歩く人々を描く。
- 木々や車のある方の建物の側面を仕上げる。
- 建物左側面の窓を8つ追加。
- 建物左側面に“BOHEMIAN”の文字を入れる。
- 建物右側面と窓の手すり、歩道の柵を完成させる。
- 建物右側面に縦9列の窓を付ける。
(完成図は p.139)



曲線遠近法

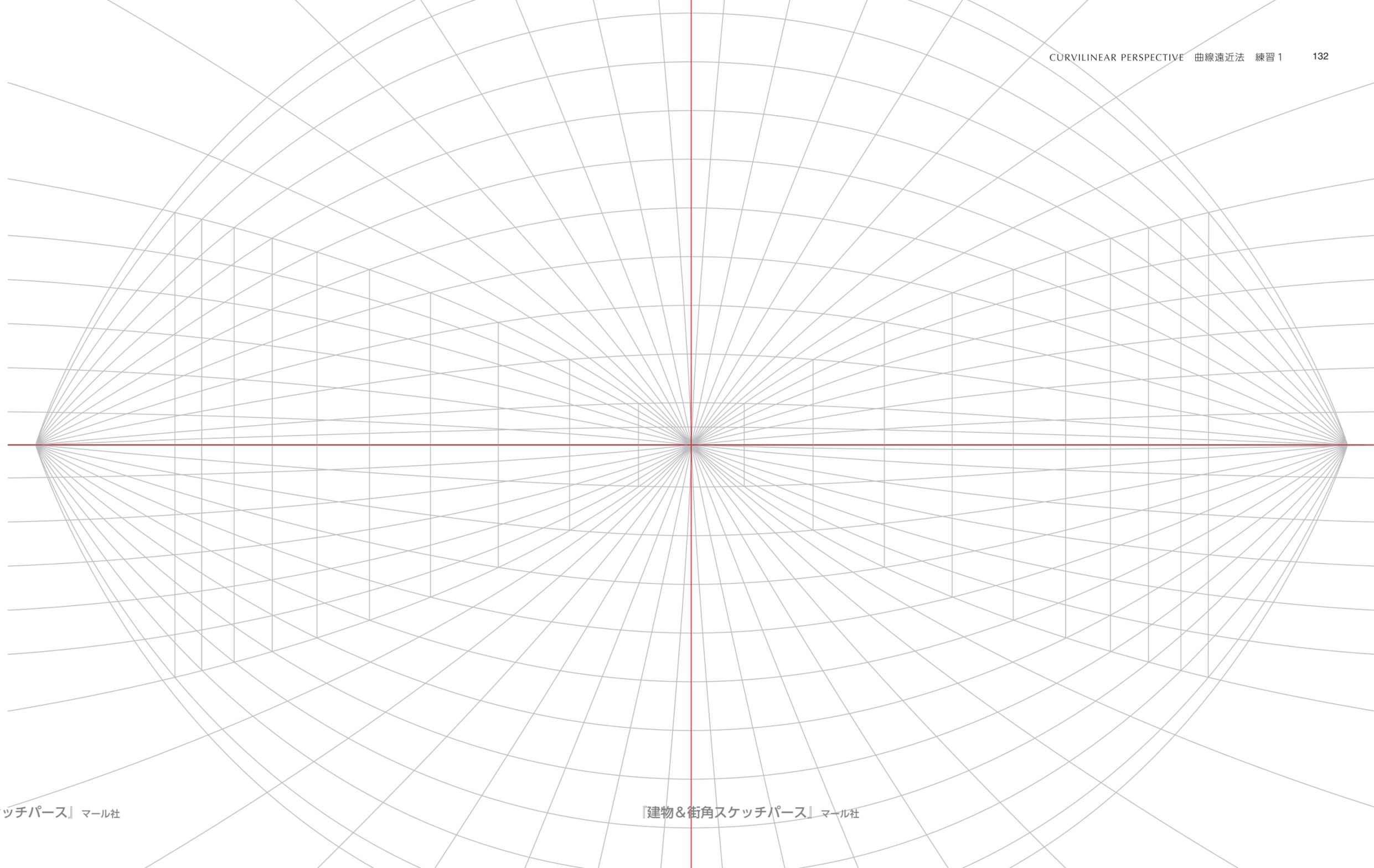


曲線遠近法は、視野 180 度の景色をくまなく描いたスケッチを描くときに使います。使う消失点は 3 つで、1 つは見る人の正面「目の高さ」にあり、残る 2 つは、周辺視野の左右、一番遠いところにあります。魚眼レンズ効果は、基平面（スケッチをする人が立っている平面）が弓形に湾曲していると解釈したときに得られます。



▲ この街角の通りの絵（ラパン作）では、前景の広視野にアーティストたちを配し、正面のファサードが美しく装飾された建物群の平行線が湾曲しながら左右の消失点に収束しています。基平面を見る人の方へ湾曲させることで、遠景の建物がすぐ近くにあるかのように感じさせます。

『建物&街角スケッチパース』 マール社

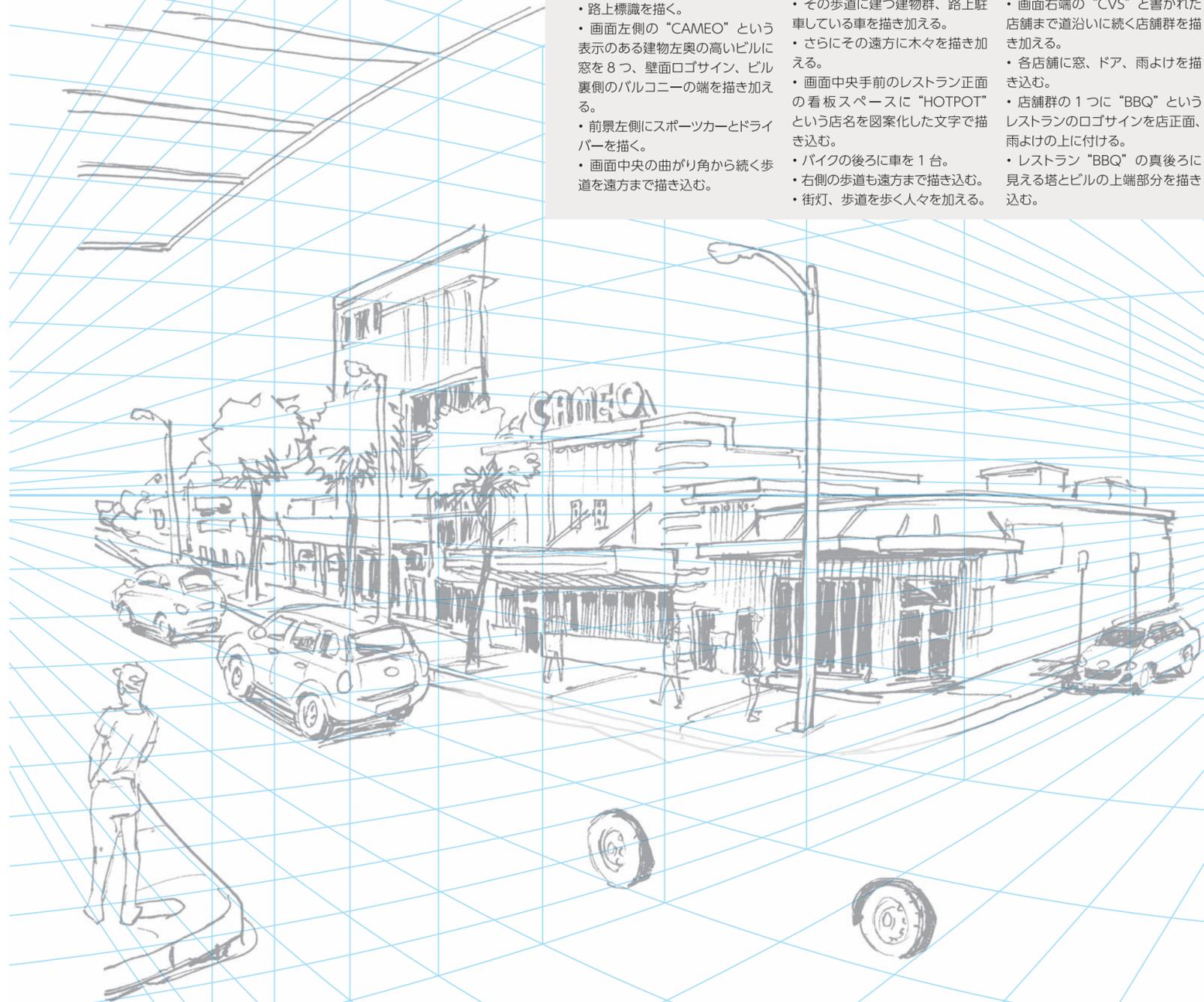


『建物&街角スケッチパース』 マール社

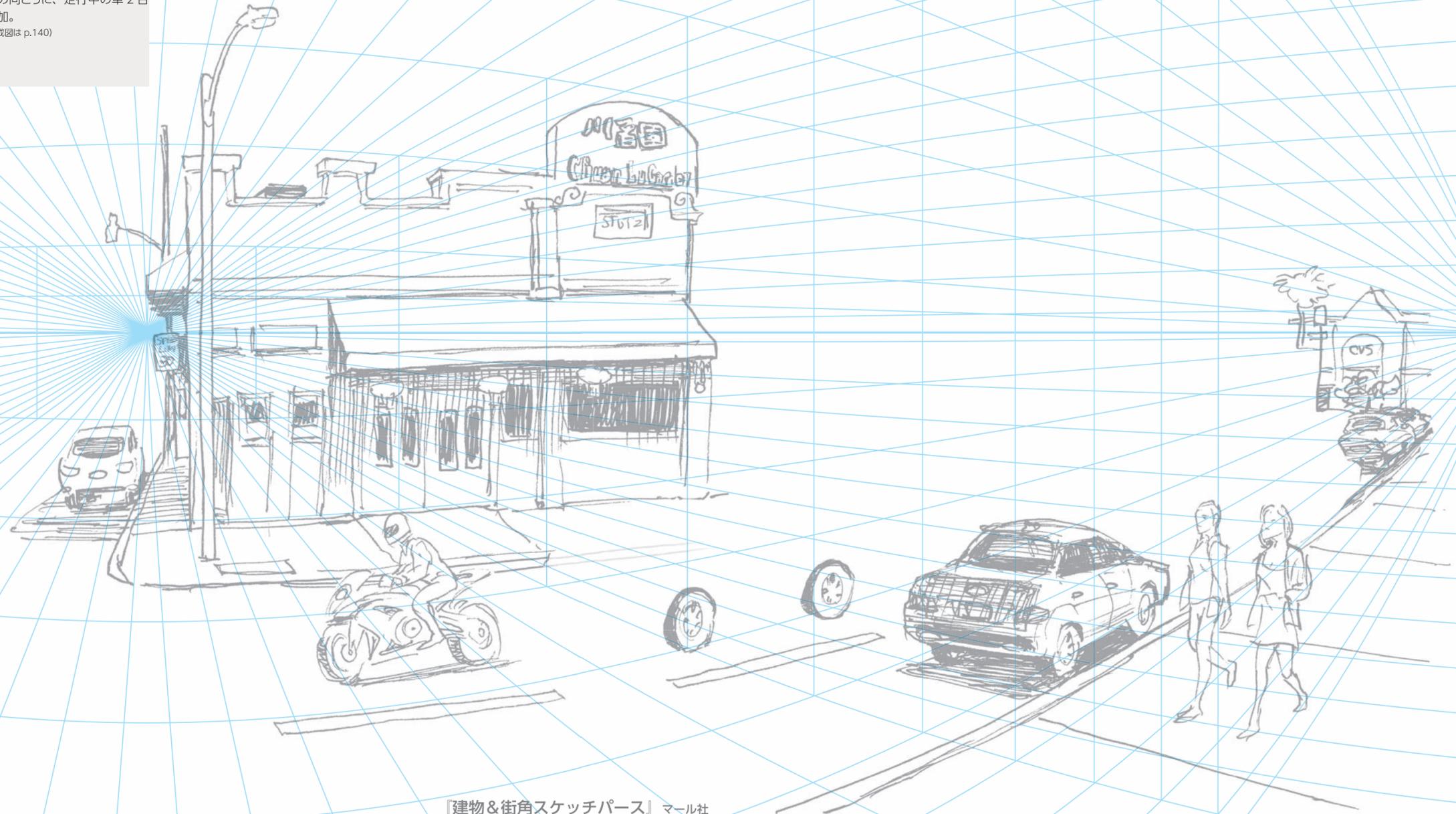
描き込みリスト(左から右へ)

- 路上標識を描く。
- 画面左側の“CAMEO”という表示のある建物左奥の高いビルに窓を8つ、壁面ロゴサイン、ビル裏側のバルコニーの端を描き加える。
- 前景左側にスポーツカーとドライパーを描く。
- 画面中央の曲がり角から続く歩道を遠方まで描き込む。
- その歩道に建つ建物群、路上駐車している車を描き加える。
- さらにその遠方に木々を描き加える。
- 画面中央手前のレストラン正面の看板スペースに“HOTPOT”という店名を図案化した文字で描き込む。
- バイクの後ろに車を1台。
- 右側の歩道も遠方まで描き込む。
- 街灯、歩道を歩く人々を加える。
- 画面右端の“CVS”と書かれた店舗まで道沿いに続く店舗群を描き加える。
- 各店舗に窓、ドア、雨よけを描き込む。
- 店舗群の1つに“BBQ”というレストランのロゴサインを店正面、雨よけの上に付ける。
- レストラン“BBQ”の真後ろに見える塔とビルの上端部分を描き込む。
- 画面右側の歩道沿いに駐車している2台の車の間に、車をさらに2台追加。
- 画面左上に張り出ている屋根の続きを、画面右上にも描き込む。
- 画面右側の通りに停めてある車4台の向こうに、走行中の車2台を追加。

(完成図は p.140)



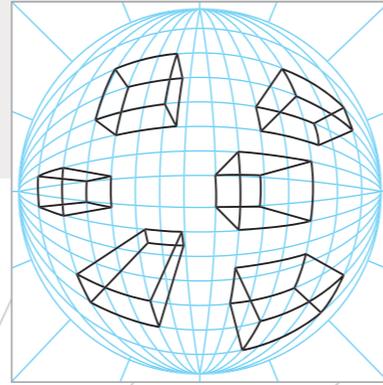
『建物&街角スケッチパース』 マール社



『建物&街角スケッチパース』 マール社

極端な曲線遠近法

これも曲線遠近法で見た視野ですが、通常の曲線遠近法の歪みを、もう1段階極端にしたものです。消失点は、球の水平線上の左端、中央、右端に各1つ、垂直線上の上端、下端に各1つ、合計5つあります。この技法でスケッチすると、世界がまるでミラーボールの中に閉じ込められているかのように見えます。



描き込みリスト (左の部屋 [居間]。左から右へ)

- 画面左側にソファ、コーヒーテーブル、室内装飾品を描き加える。
- 奥の壁際に観音開きのキャビネットを描く。
- ランプを置いたサイドテーブルを描く。
- キャビネットの上の壁に絵を掛ける。

描き込みリスト (中央の部屋 [台所]。左から右へ)

- 手前左の壁沿いにあるキャビネットの上の壁に時計を描く。
- キャビネットの中段の棚に、受け皿とカップを描き加える。
- テーブルの上に、ワイングラス、ボールとスプーン、紙、封筒、小包、ペンなどを描き込む。

- 天井に照明を2つ追加。
- 台所奥の収納空間に棚や箱などを描き加える。
- この収納空間への出入り口を描く。
- 台所の右側の壁にあるカウンターの上に食器棚を追加。
- 台所右側のドアにパネルを6枚描き加える。

- 右側の部屋にタイルのフローリングを施す。
(完成図は p.140)

